

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL https://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,056	4.7	502	△43.9	566	△29.9	397	777.4
2021年3月期第3四半期	14,385	△12.4	895	△3.5	807	△19.2	45	△90.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,058百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 7百万円(△97.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	55.37	—
2021年3月期第3四半期	6.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	23,628	13,655	54.4
2021年3月期	23,136	12,741	51.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 12,857百万円 2021年3月期 12,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2022年3月期	—	8.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	1.4	500	△56.3	500	△53.2	300	4.0	41.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	7,739,548株	2021年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	552,909株	2021年3月期	552,909株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	7,186,639株	2021年3月期3Q	7,186,747株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの度重なる感染拡大を背景に、経済活動の制限や外出自粛要請が実施され、消費の落ち込みや雇用環境の悪化が見られるなど、依然として厳しい状況が続いております。

世界経済におきましては、感染拡大防止策の効果により先進国を中心に景気は持ち直しつつありますが、感染の再拡大が各国で懸念されており、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が続いておりますが、自動車関連部品を中心に、前年同四半期における大幅な需要減少からの回復が見られました。しかしながら、自動車関連や家電分野では、東南アジアでの新型コロナウイルスの感染拡大による製品生産の停滞や半導体不足に伴う得意先による生産調整を背景に、第2四半期終盤以降は先行き不透明な受注状況が続いております。電子ペンやプリンター部品では、テレワークや在宅勤務の増加を背景に、一定の需要を維持しております。医療機器関連では、各国における経済活動の制限に影響を受けつつも、得意先からの安定的な受注により医療機器の需要は底堅く推移しております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い減少していた取引先からの受注が回復したことなどにより、売上高は増加いたしました。一方で、感染拡大を背景とした各拠点のロックダウン等による生産効率の悪化に伴う費用や固定費が高止まりしたことにより、営業利益は減少いたしました。また、経常利益につきましては、米ドルに対する各国通貨安の進行に伴い為替差損が減少したものの、営業利益の減少による影響が大きく、減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の増加に加え、連結子会社であるハントンスプリングインダストリーズSDN. BHD. の解散及び清算に伴い前年同四半期に計上した関係会社整理損失引当金繰入額が当第3四半期は発生しなかったことにより、大きく増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は150億5千6百万円と前年同四半期と比べ6億7千万円(4.7%)の増収、営業利益は5億2百万円と前年同四半期と比べ3億9千2百万円(43.9%)の減益、経常利益は5億6千6百万円と前年同四半期と比べ2億4千1百万円(29.9%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9千7百万円と前年同四半期と比べ3億5千2百万円(777.4%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、自動車関連部品やデジタルカメラ部品を中心に取引先からの受注が回復し、増収となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大による生産効率の悪化に伴う費用や固定費の高止まりにより、減益となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて143億1千7百万円と前年同四半期と比べ7億7千9百万円(5.8%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は5億5百万円と前年同四半期と比べ4億4千3百万円(46.8%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、新型コロナウイルスの感染拡大や半導体不足を背景に、部品の調達が滞っており、自動車関連部品やデジタルカメラ部品では減産・生産調整が続いております。また、相次ぐ原材料の値上げにより、付加価値の圧迫も続いております。一方で、医療機器部品の売上高は堅調に推移しました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて5億3千6百万円と前年同四半期と比べ1億5千7百万円(22.7%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は7千8百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)8千2百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、中国市場における需要回復を背景に、設計業務の売上高は増加傾向にあります。検査部門では、付加価値を付けた特殊基板の受注の確保を続けており、売上高も好調に推移いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて2億5千3百万円と前年同四半期と比べ4千9百万円(24.5%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は7千5百万円と前年同四半期と比べ4千6百万円(164.3%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億3千9百万円増加し、160億8千5百万円となりました。受取手形及び売掛金が2億4千万円、有価証券が2億6千6百万円、原材料及び貯蔵品が3億7千2百万円、仕掛品が2億3千4百万円それぞれ増加し、現金及び預金が7億3千5百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5千2百万円増加し、75億4千2百万円となりました。有形固定資産が6千5百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ4億9千1百万円増加し、236億2千8百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、73億5千6百万円となりました。短期借入金が6千4百万円、1年内返済予定の長期借入金が2億6千6百万円、賞与引当金が2千4百万円、その他(流動負債)が1億1千1百万円それぞれ減少し、支払手形及び買掛金が4億5千9百万円増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億1千4百万円減少し、26億1千6百万円となりました。長期借入金が4億7千7百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ4億2千1百万円減少し、99億7千3百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9億1千3百万円増加し、136億5千5百万円となりました。利益剰余金が2億5千3百万円、為替換算調整勘定が5億5千6百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年11月12日に公表いたしました「2022年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありません。

新型コロナウイルスの感染拡大により大きな打撃を受けた世界経済ですが、欧米及び中国における感染拡大防止策の緩和やワクチン接種の進展に伴い、経済活動は再開されつつあります。しかしながら、東南アジアを中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大及び世界的な半導体の供給不足により、顧客の生産調整や新規製品の生産開始の遅れなどが生じており、当社の生産に影響が出ております。こうした外的な要因を背景に、当第3四半期以降におきましても、大変不透明な生産状況が続くことが見込まれます。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な生産活動を行い、新型コロナウイルスの感染拡大等による影響に対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,379,691	6,644,370
受取手形及び売掛金	3,416,849	3,657,516
電子記録債権	642,540	594,265
有価証券	727,319	994,203
商品及び製品	918,175	1,059,864
仕掛品	978,547	1,213,053
原材料及び貯蔵品	1,213,611	1,586,577
未収入金	195,397	85,444
その他	175,856	252,371
貸倒引当金	△1,825	△2,111
流動資産合計	15,646,166	16,085,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,159,168	2,064,793
機械装置及び運搬具（純額）	2,578,047	2,598,278
土地	1,163,269	1,155,288
リース資産（純額）	110,691	107,234
建設仮勘定	120,351	177,656
その他（純額）	660,950	754,393
有形固定資産合計	6,792,479	6,857,645
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	166,020	155,629
退職給付に係る資産	151,651	172,422
繰延税金資産	4,150	4,937
その他	167,449	155,740
貸倒引当金	△2,767	△3,239
投資その他の資産合計	486,504	485,489
固定資産合計	7,490,379	7,542,913
資産合計	23,136,546	23,628,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,022,203	2,481,217
短期借入金	2,550,000	2,486,000
1年内返済予定の長期借入金	1,319,642	1,053,635
未払法人税等	58,245	68,244
賞与引当金	192,624	168,558
関係会社整理損失引当金	305,931	295,888
その他	914,950	803,449
流動負債合計	7,363,597	7,356,992
固定負債		
長期借入金	2,209,840	1,732,128
繰延税金負債	282,296	316,314
役員退職慰労引当金	164,833	181,553
退職給付に係る負債	261,993	283,071
その他	112,295	103,285
固定負債合計	3,031,258	2,616,353
負債合計	10,394,856	9,973,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,168	2,246,168
利益剰余金	8,573,937	8,827,040
自己株式	△397,961	△397,961
株主資本合計	12,611,104	12,864,207
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,294	33,853
為替換算調整勘定	△597,321	△40,754
その他の包括利益累計額合計	△598,615	△6,901
非支配株主持分	729,201	797,817
純資産合計	12,741,690	13,655,123
負債純資産合計	23,136,546	23,628,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	14,385,939	15,056,069
売上原価	11,627,714	12,468,571
売上総利益	2,758,224	2,587,497
販売費及び一般管理費	1,863,188	2,085,206
営業利益	895,036	502,291
営業外収益		
受取利息	50,124	56,234
受取配当金	5,721	6,224
助成金収入	34,500	18,214
その他	14,376	17,482
営業外収益合計	104,723	98,156
営業外費用		
支払利息	22,051	26,974
為替差損	168,705	7,206
その他	1,165	—
営業外費用合計	191,921	34,181
経常利益	807,838	566,266
特別利益		
固定資産売却益	1,350	76,870
特別利益合計	1,350	76,870
特別損失		
固定資産売却損	10,754	7,789
固定資産除却損	18,054	5,975
減損損失	82	—
投資有価証券評価損	—	46,486
関係会社整理損失引当金繰入額	464,020	—
特別損失合計	492,912	60,252
税金等調整前四半期純利益	316,276	582,883
法人税等	231,285	166,782
四半期純利益	84,990	416,101
非支配株主に帰属する四半期純利益	39,638	18,167
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,352	397,933

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	84,990	416,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	504	35,147
為替換算調整勘定	△78,091	607,022
その他の包括利益合計	△77,587	642,169
四半期包括利益	7,403	1,058,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,171	989,648
非支配株主に係る四半期包括利益	62,574	68,623

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品の譲渡益に係る収益を認識しておりましたが、当該支給品の譲渡益に係る収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,525,319	656,731	203,888	14,385,939	—	14,385,939
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,600	37,675	—	50,276	△50,276	—
計	13,537,920	694,407	203,888	14,436,215	△50,276	14,385,939
セグメント利益又は損失(△)	949,154	△82,542	28,424	895,036	—	895,036

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,307,346	494,962	253,760	15,056,069	—	15,056,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,206	41,609	—	51,816	△51,816	—
計	14,317,553	536,571	253,760	15,107,885	△51,816	15,056,069
セグメント利益又は損失(△)	505,407	△78,228	75,112	502,291	—	502,291

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。